

～「市民の声」

明日のあなたの

仕事に活かす～

こんな声  
届いて  
います！

「市民の声」から

動物？人命！

「アーケード上で動けなくなっている猫を救出して欲しい」と電話しました。私も消防が人命救助が第一優先なのは分かっています。しかし手の届かない場所で、弱っている猫を助けることができるのは消防士さんだけだと思い、仕方がなく119番通報しましたが、来ていただいた消防隊員の方は到着時からやる気のない態度で「人命救助が第一優先で、もし高所で作業中に転落したらどうするんですか」などと、対応も横柄でした。

消防は、市民の財産を守るのも仕事の一つではないのですか？

当局では、災害現場を優先したうえで動物救護事案に対応しているところです。当該事案では、猫の健康状態を危惧した申告人が藁にもすがる思いで通報しただけに、到着した消防隊の姿を見て、そのように映ってしまったのかもしれませんが、事実確認を実施しましたが、上記のような発言はしていませんでした。

申告人の立場や心情を理解したうえで、丁寧な市民接遇が必要ですね。

命のバトン

AED講習を受講させていただきました。

私は今日までAEDは有資格者が使うもので、自分には関係ない遠い世界のもの…とっていました。自分の勇気ある行動で生存率をあげることができることも知りませんでした。

受講後、受講した同僚達と、知らないってこわいなー。受講できてよかったなー。大切な人を守りたいよなーと、あらためて有意義な講習に胸が熱くなり、参加できなかった人にも共有しました。

〇〇さんの熱いメッセージと、消防隊員の皆さまと、参加の機会を下さった上司に本当に感謝致します。

お身体に気をつけて、これからも1人でも多くの人に救命講習バトンをお願い致します。

ありがとうございました。

さぞや気持ちの入った講師による熱い講習会だったのでしょう。

気持ちを伝えることはとても難しいことです。

市民の皆さまとともに、一人でも多くの命を助けることができるよう、実のある講習会を開催していかなければなりませんね。

庁舎の5S

自家用車で〇〇消防署の前を通過しましたが、外から見える窓や扉のすべてにブラインドやポスターが掲示してあり、消防署の中を全く見ることはできません。

市民は、消防職員が働いている姿を見ることで安心感を得ることができるのではないかと？

消防署の内部が見えるように開放しておかなければならないといった決まりはありませんが、ポスターが破れていたり、乱雑に貼られていたり、掲示したポスターが維持管理できていなかったために、誤解を招いてしまったかもしれませんね。

期間が修了していたり、色あせたポスターを受付の近くに掲示していませんか？

受付は消防署の顔ですよ！！